



YOTSUBA NO TAYORI

山の田地区まちづくり協議会 四つ葉のたより 検索

四つ葉のたより

第 15 号

2020年4月発行

発行

山の田地区まちづくり協議会

〒751-0834 下関市山の田東町 4-13 (北部公民館 2F)
TEL : 083-250-7955 ・ FAX : 083-250-7965
ホームページ : <http://yotuba2017.sakura.ne.jp>



四季折々の花の咲く美しいまちづくり!!

地域力アップ事業

武久1町永命寺公園に6年前に植えた河津桜が2月中旬みごとに開花しました。

桜の木は3本ですが、公園愛護会で手入れを行い大切に育てています。
年を経過する毎に大きな木となり、早咲きの桜は町民の楽しみとなるでしょう!!

公園の花壇整備などで、プランターに根付けた黄色や紫のパンジーが、
道行く人々を楽しませています。



まちの話題

生野町2丁目自治会クリスマス会 2019年12月21日開催

生野町2丁目自治会では2017年より地区の子供達を町民館に招待してクリスマス会を開催しています。今回は17名と参加者も順調に増加して恒例行事として定着しつつあります。

アトラクションとして昨年好評だった下関マジッククラブ会長のマジックショーに加え、バルーンアート教室も行いました。目前で展開するマジックの数々や、自分の手で一本のバルーンから子犬や剣を作り出すおもしろさに、参加したこどもたちは目を輝かせていました。

アトラクションの後、皆でケーキをいただき、その後ビンゴゲームでささやかなプレゼントを配り、絵本の読み聞かせで会を終了しました。

夏はラジオ体操、盆踊り、天体観測など、こどもたちが参加できる行事がたくさんありますが、それ以外の季節でもそうした行事を少しづつ増やして行って、こどもたちの笑顔あふれる町にしていきたいです。



高齢者向けコミュニティサロン「山の田いきいきサロン」「カラオケクラブ」好評運営中

山の田地区まちづくり協議会専門部会の呼びかけを受け、山の田地区社協共催の「山の田いきいきサロン」を、令和元年4月より毎月第2・第4(木)に開催、「カラオケクラブ」を各週老人憩いの家で開催しています。

元気に長生きする秘訣は、「きょういく」と「きょうよう」と言われています。今日行く所がある、今日用事がある事です。

家にこもりがちにならず、毎日買い物や病院や娯楽などに出席することが、足腰を鍛え、頭に適度な刺激を与え、人に会ったり、笑ったり、おしゃべりしたり、歌ったり、体操したりすることで心身とも健康で穏やかな日々を過ごすことが出来、高齢者のボケ防止・健康長寿につながることを狙いに、高齢者の方々が集まれる場として開設しました。

5月からは毎回ゲストの方をお招きし、マジックショーやバンド生演奏、舞踊、寸劇、歴史の話、認知症・転倒防止など医療講座、消費者講座など楽しく又為になる催しを行なっています。



山の田交差点「清掃活動」と「花壇整備事業」継続実施(環境部会)

山の田地区まちづくり協議会環境部会は、下関明るい社会づくり協議会、山の田自治連合会共催で、山の田交差点付近の「清掃活動」と「花壇整備事業」を令和元年4月より毎月15日・30日の月2回早朝より7時30分頃まで行っています。

明るく安全で安心して住める町づくりは、町をきれいにすることから始まります。

町や公園がきれいになると、

- ・ポイ捨てや不法投棄が無くなりきれいになります。
 - ・きれいな町は防犯対策や事故防止に役立ちます。
 - ・気持ちが明るく優しくなり豊かな町づくりに繋がります。
- 花壇は年3回程度、季節に合わせ花を植え替え愛でています。水やりについて、西中国信用金庫山の田支店、下関東郵便局、藤川ビルに入居の商店に多大なるご協力をいただいています。「清掃活動」「花壇整備事業」の実施日をメンバーは心待ちにしています。





住民の願いかなう! 山の田交差点、横断歩道設置!!

山の田交差点は、長い間住民から横断歩道の設置要望が強くありました。交通量が多く、朝夕の渋滞も激しく、またスピードの出やすい地形のため、安全上の観点から許可ができないものと言われてきました。

平成28年7月横断歩道の設置を再度陳情いたしました。国道と県道の交差する複雑な交差点でしたが、国道191号線の北バイパスの開通に伴い、この道路は、下関市に移管され市道となりました。このため、まちづくり協議会は山の田自治連合会と共に横断歩道の設置を下関市長に再陳情いたしました。

直ちに、市・県・警察その他関係先に働きかけていただき、今回横断歩道の設置が決定となりました。

今は、今年度中の利用を目指して、交差点の改良工事が進められています。

横断歩道の設置により便利になりますが、地下道トンネルの利用も推奨していきます。交通ルールを守って、安全で事故のない住みよいまちづくりを目指していきましょう。





地元の企業を知っていますか!!

vol.2 : 日本プスネス株式会社・株式会社瀬戸崎鐵工所

日本プスネス株式会社

日本プスネスの船舶用甲板機械は、船舶をターミナル(岸壁、洋上係船施設)に安全に繋留する為の係船機(ムアリングウインチ)と、沖待ちや台風対策としての錨泊に使用する揚錨機(ウインドラス)があります。Hitz日立造船グループでその専門メーカーである日本プスネスは、国内造船所で進水する50,000DWT以上の全船舶のほぼ50%のシェアを確保しています。日本プスネスでは、新技術の開発にも取り組んでおり、操舵室から自動制御可能な錨のオートドロッピングやインバータ制御に相当する油圧制御への無段バルブなどの適用例があります。



代表取締役社長
増田 龍樹



株式会社瀬戸崎鐵工所

瀬戸崎鐵工所は全長200mを超える大型船舶用係船装置の製作で、日本国内のシェア60%近くというリーディングカンパニーです。これまでに3,000隻以上の納入実績を誇り、世界中を航海している船舶に搭載されています。業界で最も信頼できる装置とシステムを提供しており、世界中で高く評価されています。



日本プスネス株式会社



株式会社 瀬戸崎鐵工所